

2.（仮称）さんぶの森交流センター（案）について

◆目的

（仮称）さんぶの森交流センターを中心とした健康・文化活動エリアを創生する

山武市民の健康、文化活動だけでなく、環境（バイオマス等）、福祉、教育活動の交流拠点として位置づけている。中でも、山武地域の財産であるサンブスギ等の資源を活用したバイオマス事業の取り組みは、産官学の連携した事業として積極的に推進しており、次世代へ良好な環境、価値ある資源を引き継いでいくためにも積極的な展開が必要である。地域環境や山林保全事業を推進していくための場として、山武市のメッセ会場として、イベントスペースとして位置づけ、市を活性化させる拠点施設を目指すものである。

また、市民の利便性の向上を図るため、人々が集まったところで行政サービスを提供する窓口を設け、山武地域における山武市役所山武出張所としての役割を担う施設とする

◆計画期間及び整備方針

計画期間 平成19年度～平成21年度

（平成19年度：測量、基本計画 平成20年度：開発申請、実施計画 平成21年度：整備工事）

整備方針 ①経済性、効率性を追求した施設整備

②山武市民の健康、文化及び活動の拠点となる施設整備

③地域性に配慮した施設

④行政窓口の設置

⑤屋外付帯施設の整備

◆山武市土地利用構想（山武市総合計画）

「丘陵価値創造ゾーン」

丘陵価値創造ゾーンには、千葉東金有料道路が横断し、その周辺には、緑豊かな丘陵地と、にんじん、さといもなどの野菜やスイカ、なしなどの果実が栽培された農地が広がっています。

この地の利を活かし、首都圏の食料基地として、安全・安心・新鮮など消費者ニーズに的確に対応した都市近郊型農業の発展に努めると共に、観光農園や体験農業の充実を図り、都会の人々との交流による体験型農業観光の推進に努めます。

また、自然環境との調和に留意しながら、成田国際空港への交通アクセスに恵まれた好立地を活用し、工業や流通業などの拠点機能の集積や、首都圏としての定住環境機能の整備充実などを促進します。



※旧山武町基本構想

基本理念 : 「自然美の中で躍進するまちづくり」

基本目標 : 「みんなでつくる 明るく健康なまち さんぶ」

土地利用構想 : 「市街地ゾーンの中心地区、役場周辺の生活拠点づくり地区、スポーツ・文化拠点、観光・レクリエーション地区」

◆施設概要

施設名称：（仮称）さんぶの森交流センター

施設用途：交流センター及び山武市役所山武出張所

建物規模：1, 500㎡程度

構造：鉄骨造他、平屋建

駐車場収容台数：30台程度

整備条件：安全（自然災害）、健康で文化的な環境づくり

周辺環境への配慮（外構等）

コスト削減への配慮

◆運用、利用方法

1. 市民が自由に交流でき、活気、賑わいを創出する施設として展開

山武市民の健康、文化及び活動に加えて、サンプスギ等の資源を活用したバイオマス事業の取組みをPRする場として利活用する。（山武市のメッセ会場、イベントスペースとして位置づけ）

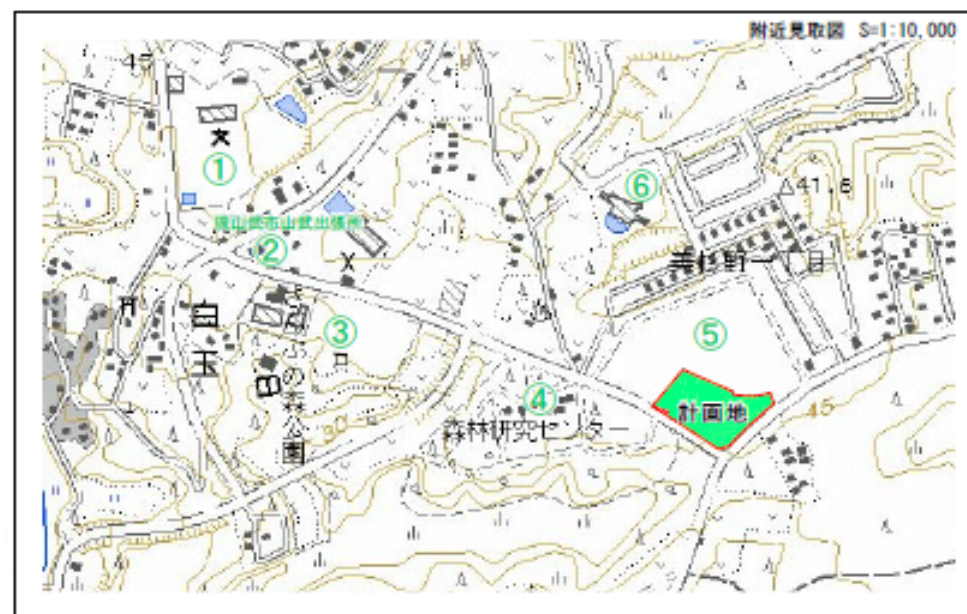
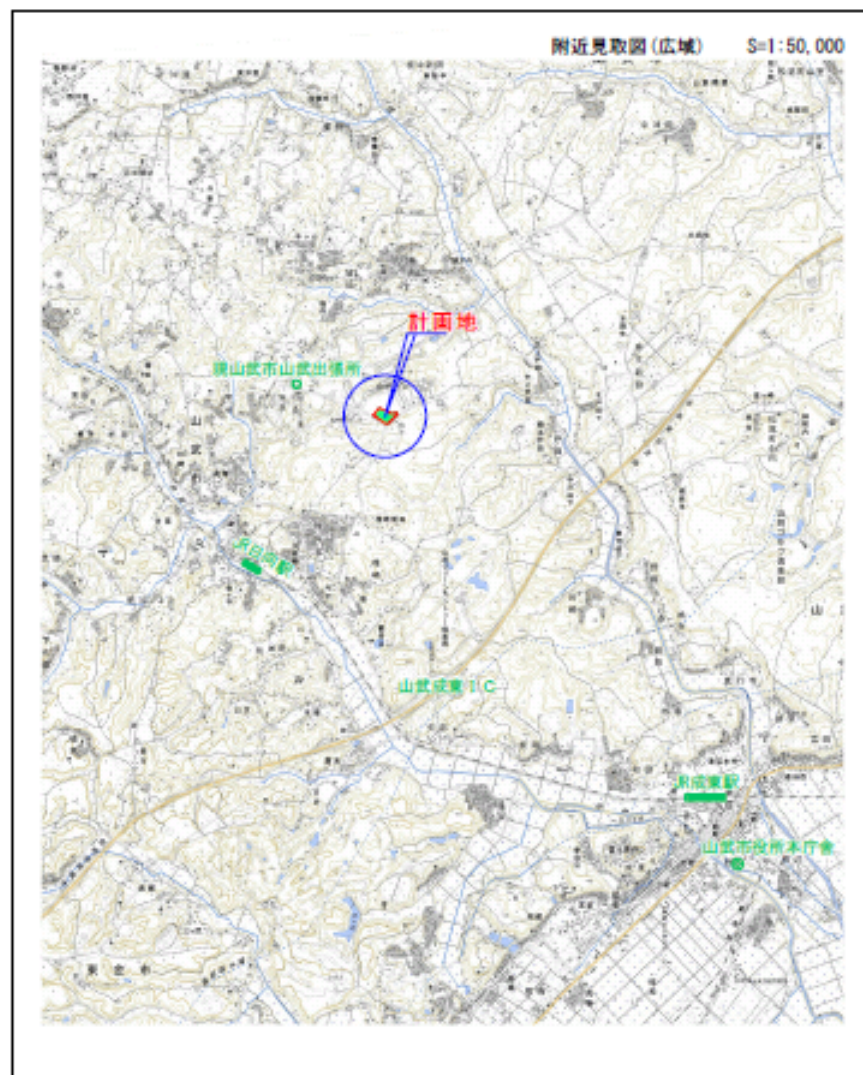
2. 市民の利便性を考え、人々が集まる場所で行政サービスを提供

施設内に主に窓口業務を行う山武市役所山武出張所を配置し、市民の利便性の向上を図る。

3. 防災面を考慮した屋外整備

屋外については防災、イベント等において多目的に活用することや維持管理の容易さを考慮し、平坦緑地を多くし、日除け休憩所となる東屋、ジャイアントシェルター等を設置する。

(仮称)さんぶの森交流センター付近見取り図



(仮称)さんぶの森交流センター全体平面図(案)

計画の主旨

本計画は、新たにスタートした山武市の「活性化の拠点」となる施設を目指したものです。山武市民の文化及び活動の交流拠点として、又この施設をイベントスペースとして活用することにより活気・賑わいを創出し、集まった人々の交流促進を図る施設とし、その実現を目指して「さんぶの森交流センター」を計画しました。

配置計画図 S=1:1,000

1. 施設の集約化と建設費削減

計画地の整備を敷地の約半分に抑え、建物の集約化を図ります。利用敷地を抑えることで建設費を抑えることが出来ます。また、それにより残った敷地を多目的に使える広場とすることで、市民の交流を活性化させるとともに、将来利用の柔軟性をまみ出します。

計画敷地の施設建設のための利用を少なく抑え、残った部分を広場とします。これにより建設にかかる整備面積を減らし、コスト削減につなげるとともに、将来の施設増築の対応や他用途への転用（別施設の建設、用地転売）等フレキシブルな使い方が可能となります。

交流センターは建物形状を単純な長方形とすることで建物コストを抑え、将来のメンテナンス費用を低減できます。

2. スポーツ広場と一体化出来るイベント広場の配置

ジャイアントシェルターで覆われたイベント広場は、交流センターのスポーツ広場側に位置し、将来、2つのエリアを繋ぐことで一体的な利用が可能となります。このイベント広場は、産業祭や朝市のほかにスポーツイベント開催時の休憩所としても利用可能で交流センターを囲む広場とともに多彩な行事に対応できるスペースとなっています。

3. ユニバーサルデザイン

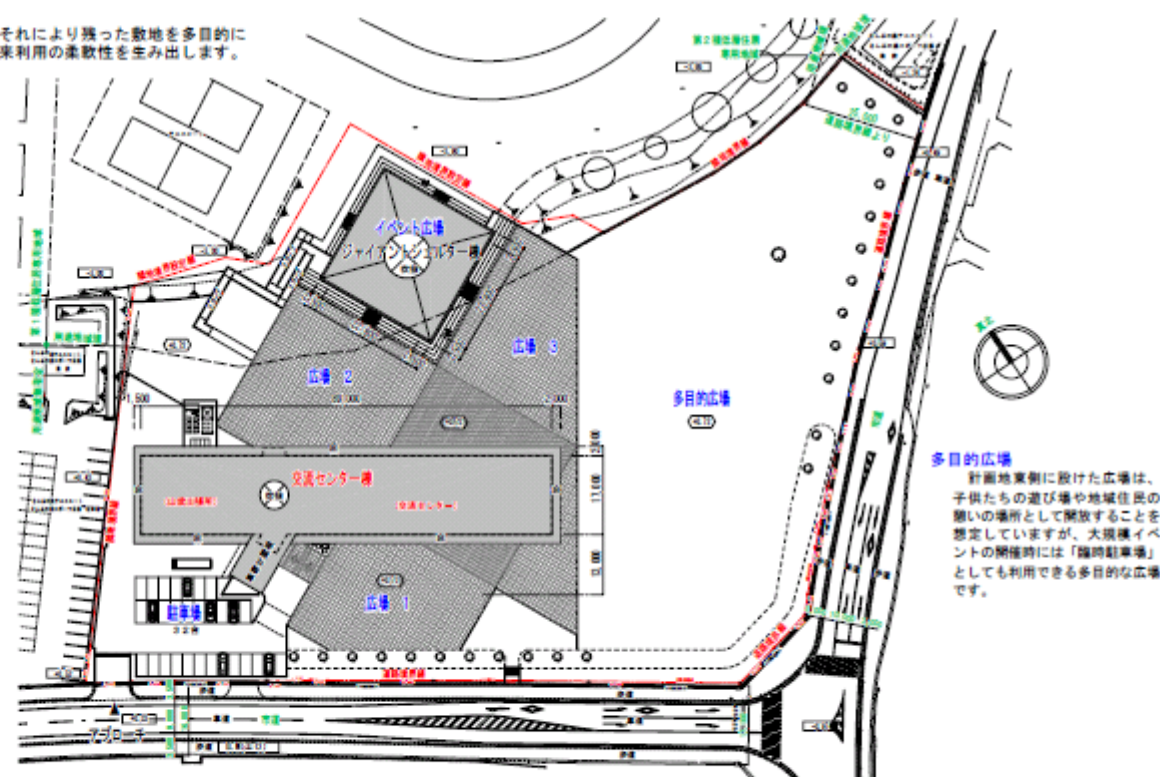
誰もが使いやすいわかりやすい平面形状とし、初めて施設を訪れた人にも親切的な建物とします。エントランス前面には大きな車寄せを計画し、自家用車や巡回バスで訪れた人々が雨の日でも乗り降りしやすく、お年寄りから子供たちそして障害を持った方々に至るあらゆる人々が安心して利用できるユニバーサルデザインとします。

周囲の様々な広場

大きな異なる広場を建物の周囲に計画しており、様々なイベントを行うことができます。

イベント広場

ジャイアントシェルターで覆われたイベント広場は、交流センターのスポーツ広場側に位置し、2つのエリアを繋ぐことで一体的な利用が可能となります。



効率的で使いやすい駐車場

駐車場は、将来テニスコート駐車場との一体へ変更が可能で、かつ、道路とは高低差が少なく交差点から離れた位置に計画し、運転の苦手な方にも安心して利用いただけるよう配慮しました。エントランス側には身体障害者用駐車場を設置し、車椅子利用者や足の不自由な方への配慮をしています。

車両乗入れ可能なアウトドアイベントスペース

交流センター南側に設けた広場は、アウトドアのイベントや車両を使用した出店なども想定して配置しています。

(仮称)さんぶの森交流センター建物平面図(案)

わかりやすい平面計画

平面計画図 S=1:300

誰もが使いやすいわかりやすい平面形状とし、初めて施設を訪れた人にも親切的な建物とします。

出張所(事務所機能)

平日は施設利用の受付を兼ねることが可能な見通しの良い配置としました。
出張所と交流センター間は夜間・休日等に区画できるように配慮し、シャッターを設けました。

観光情報スペース

さんぶの森地区及び山武市全域の観光紹介や交流センターの施設案内のためのスペースです。

トイレ

屋内からの利用はもちろんイベント広場等の屋外からの利用も考慮した動線計画としました。

ギャラリー

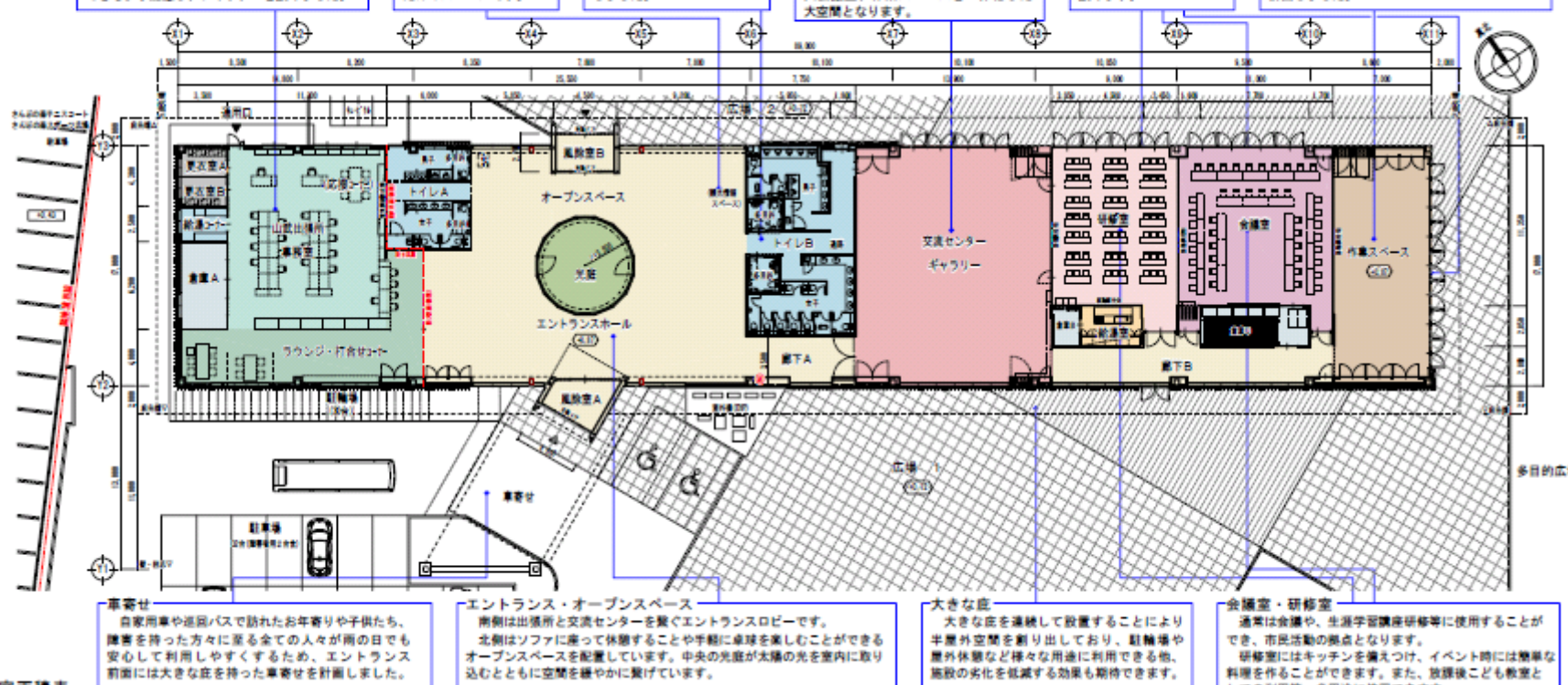
市民ギャラリーや、バイオマス関連等の展示スペースとして利用できる他、壁仕切り壁を収納することで研修室や大会議室、作業スペースを一体化した大空間となります。

屋内外の一体的利用

広場を含めた内外一体利用も想定し、北側及び東側の外壁に大開口を設けます。

作業スペース

木工製作体験など半屋外的な用途に使用することができます。また、窓を開放することで多目的広場との一体的な利用が出来るように計画しました。



各室面積表

階別	種別別				受水槽ポンプ室	ジャイアントシェルター	法政広場敷地内全体	容積対象外面積				敷地対象容積対象面積
	山武市役所山武出張所	共用部分	交流センター	交流センター棟				自動車庫(敷地内)	地中埋設物(敷地内)	住宅の4層以下(敷地内)	計	
1	事務室(含 応接室) 146,900㎡ 会議室 8,700㎡ 更衣室A・B 21,700㎡ 倉庫A 15,000㎡	トイレA 43,800㎡ ロビー・エントランス 317,012㎡ 観光情報スペース 15,180㎡ 風防壁A 12,500㎡ トイレB 104,338㎡	廊下A 27,411㎡ ギャラリー 236,300㎡ 研修室 106,500㎡ 会議室 12,825㎡ 倉庫B 5,845㎡ 会議室 130,790㎡ 倉庫C 21,940㎡ 作業スペース 119,0㎡ 廊下B 62,037㎡	事務室(含 応接室) 146,900㎡ 会議室 8,700㎡ 更衣室A・B 21,700㎡ 倉庫A 15,000㎡	-	-	-	-	-	-	-	-
	ラウンジ等 84,90㎡	(車寄せ) 88,813㎡ (駐輪場) 54,000㎡			5.00	694.21	2,335.97	-142,817.00	0	0	-142,817.00	2,193.16
B					-	-	0	0	0	0	0	0
計	小計 277,305.00	638,648.00	722,713.00		5.00	694.21	2,335.97㎡	-142,817.00㎡	0㎡	0㎡	-142,817.00㎡	2,193.16㎡

(仮称)さんぶの森交流センターイメージパース(案)



(仮称)さんぶの森交流センター基本設計 計画イメージパース

(仮称)さんぶの森交流センター建設工事費概算(消費税抜)

直接工事費	447,270千円
○交流センター建設工事	339,290千円
○ジャイアントシェルター建設工事	51,810千円
○外構工事費	52,870千円
○共通仮設工事(積上分のみ計上)	3,300千円
諸経費	102,870千円
合計(工事価格)	550,140千円

※別途関連工事等(上記工事費に含まれていないもの)

開発行為に係る工事、排水放流管整備工事、施工監理費

備品家具等、情報(案内表示)設備、監視カメラ設備、防犯設備(警報配管)

電話局線引込、地中障害物・近隣対策費・電波障害・各種負担金

都市再生整備計画事業概要(国庫補助事業:まちづくり交付金 全体事業費の40%補助)

道路(白玉戸田線)	287,000千円
道路(美杉野29号線)	65,000千円
地域生活基盤施設(広場)	40,000千円
高次都市施設(交流センター)	595,000千円
合計	987,000千円